

空容器問題への取り組み

リデュース、リユース、リサイクルの3Rにリフューズを加えた4Rに取り組んでいます。

空容器問題への取り組み


空容器の発生回避に向けて

一般家庭から出るごみの約6割(容積比)は、容器包装が占めています。

このため、宝酒造ではこの空容器の問題に対処するため、リデュース(Reduce:減量化)、リユース(Reuse:再使用)、リサイクル(Recycle:再資源化)の3Rにリフューズ(Refuse:発生回避)を加えた4Rの取り組みを進めています。

リフューズとは、余分なものを買わずに必要な物だけを買うことにより、ごみを減らす活動です。「はかり売り」は、容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意味でリフューズにあたります。

 F:環境に配慮した容器・包装

 3:720mlリターナブルびんの推移

焼酎のはかり売りの展開

宝酒造独自の活動として、焼酎のはかり売りを展開しています。

焼酎のはかり売りでは、当社の工場で1kℓや200ℓの専用タンクに焼酎を充填し販売店に直送します。お客様は家庭にあるPETボトルなどの空容器を販売店に持参し、専用タンクから必要な分だけ容器に詰めて購入します。

「はかり売り」は、資源の節約や廃棄物の削減を実現するために人手を使う販売手法であり、消費者、販売店、メーカーの信頼関係をベースにお互いが協働することで成り立っています。

現在は全国で約160店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2016年3月までに、2.7ℓPETボトル換算で約831万本、段ボール約208万枚を節約することができました。



環境配慮型商品の開発

宝酒造では、「環境に配慮した商品開発のための指針」や「環境配慮型商品開発に関する手順書」を作成し、資材調達や商品開発においてISO14001の環境目標を設けて、容器の3R(リデュース、リユース、リサイクル)に配慮した商品開発を継続的に進めています。

2015年度は、「タカラ果汁入り糖質ゼロチューハイ「ゼロ仕立て」」のアルミ缶の軽量化をはじめ、調味料のPETボトルや清酒の外函などの軽量化を図りました。

 4:環境に配慮した商品開発のための指針

 5:グリーン調達・4Rガイドライン

各種団体との連携による取り組み

容器の3Rを推進するためには、関連する業界全体での取り組みが不可欠です。効率的なリサイクルシステムの構築や機関誌、ウェブサイト、展示会などを通じた容器の3Rの啓発活動などは、関連する業界全体で取り組むことが効果的です。

当社では、ガラスびんやPETボトル、紙製容器など、さまざまな容器の3R推進団体に加入し、団体の活動に積極的に参加しています。

宝酒造が加入している主なリサイクル団体

- ガラスびん3R促進協議会
- PETボトルリサイクル推進協議会
- アルミ缶リサイクル協会
- 紙製容器包装リサイクル推進協議会
- 酒パックリサイクル促進協議会
- 酒類PETボトルリサイクル連絡会